

メンタルバランスチョコレート『GABA(ギャバ)』WEB ムービー

～ 闘い続けるすべての者たちへ。～

元ボクシング世界王者・亀田興毅さんが 一般企業の営業マン転身で悪戦苦闘?!

「FIGHT×STRESS」篇 公開

挿入歌は 竹原ピストルさん 渾身の書き下ろし!

江崎グリコ株式会社（代表取締役社長：江崎勝久）は、メンタルバランスチョコレート「GABA（ギャバ）」のWEB ムービー「FIGHT×STRESS」篇に、元ボクシング世界王者・亀田興毅さん、挿入歌には竹原ピストルさんの新曲『それじゃただの大人だろ』を起用し、9月26日（月）17:00 から GABA 特設サイトにて公開いたします。（<http://cp.glico.jp/gaba/>）



グリコ「GABA（ギャバ）」
WEB ムービー「FIGHT×STRESS」篇より

■WEB ムービーについて

『GABA』は日々、ストレスと闘うビジネスパーソンのためのメンタルバランスチョコレートです。この度、元ボクシング世界王者の亀田興毅さんを起用し、日々ストレスと闘うすべての人たちを応援するWEB ムービー「FIGHT×STRESS」篇を制作しました。

亀田さんが演じるのは、ボクシング引退後、とある中規模商社で働く転職一年目の新人営業マンです。自らの発注ミスで起きた問題を取引先に謝罪し、接待カラオケでタンバリンを叩いて盛り上げ、子どもの誕生日にも出張先のホテルで残務処理を行うなど、毎日朝から晩まで働く亀田さん。再就職した一般企業で慣れない仕事に奮闘する姿を通じて、ストレスにさらされながらも、それぞれの持ち場で頑張る人々を応援する「GABA」のメッセージを訴求していきます。

挿入歌には、いま人気沸騰中のアーティスト・竹原ピストルさんから、このムービーのために、新たに書き下ろした『それじゃただの大人だろ』をご提供いただきました。独特の世界観で綴られた歌詞と力強いギターの音色、哀愁漂う真っ直ぐな歌声が、企業の営業マンとして新たな闘いに挑む亀田さんの物語を後押しします。

■WEB ムービー あらすじ

物語は引退会見のシーンから始まります。明滅するフラッシュの中、たたずむ亀田さん。記者からの問いかけが、いつのまにか得意先の男の声に変わったかと思うと、亀田さんの背中もスーツ姿に。なんと引退後に再就職したのは、とある中規模商社のサラリーマンだったのです。転職一年目の営業マンとして、忙しい日々を送る亀田さん。ある日、自分が責任者になった取引先のキャラクター（ピョコニャン）制作を失敗。担当者のもとへ先輩と謝罪に向くも、取りつく島もないぐらい怒られてしまいます。カラオケ接待でも、一生懸命盛り上げようとするも、どこか空回り。新規開拓の営業では、担当者に名刺を放り投げられるというぞんざいな扱いを受けてしまいます。

その度に、拳を握りながら、引退会見のシーンを思い出す亀田さん。ストレスがかかる忙しい日々の中にも、家族から励ましのメールがあったり、失敗したはずのキャラクターを愛用している女子高生に出会ったりと、小さな幸せを見出していきます。もしかしたら、人は誰もが、それぞれのリングの上で闘い続けているのかもしれない。引退後もあえてリングから降りない亀田さんのシーンは、そんな現代社会人の姿を象徴しているのかもしれませんが。

そしてそんな亀田さんが仕事に愛用しているのが、デスクに置かれたチョコレート「GABA」です。「闘い続けるすべての者たちへ。 FIGHT×STRESS！」のタイトルとともに、「しゃあ、よし！」と自らに気合いを入れ、亀田さんの奮闘は今日も続きます。

■撮影エピソード

◇絵コンテを見た時から共感していた謝罪の場面

取引先の会議室で謝罪するシーン。「絵コンテを見た時から、とても共感していた」という亀田さんは、監督に対して「物凄く泣きそうな顔をしたらいいですか？」などと積極的に提案していました。「取引先が苦し紛れに言う冗談に、同意していいのか、謝罪していいのか、困惑してしまう」という監督の注文は、表情だけで演じ分ける難易度の高いお芝居でしたが、本番一発目から「絶妙すぎて素晴らしい」と絶賛されていました。

◇哀愁漂う“泣ける”お芝居に視線釘付け

亀田さん自身、演出に深く関わったのが、「子どもの誕生日と一緒に過ごせず、出張先のビジネスホテルで寂しく動画を見る」シーン。実際でも、普段から営業で全国を回り、留守にすることもあるため、作品同様、スマートフォンで家族からメッセージをもらうことも多いのだとか。そうした実体験に基づいて再現された場面で、上着はきちんとハンガーに掛けるものの、シャツやズボンはベッドに脱ぎっ放しで、靴下は半分履いたままパソコンに向かう亀田さん。本人は「猫背なんて見栄えが悪くないですか（笑）」と気にしているようでしたが、哀愁漂うリアルな演技は監督だけでなく、スタッフからも「泣ける」と大好評でした。

◇元世界王者による威圧感たっぷりの目ヂカラ

喫茶店で新規の顧客と打ち合わせに臨むシーン。渡された亀田さんの名刺を顧客が机に放り投げるところで、監督から亀田さんに「顔で不満を表すという演技をお願いします」というオーダーが入りました。すかさず亀田さんが目で威圧すると、顧客役の共演者が「ものすごい威圧感！さすが元世界王者の視線ですね」と圧倒される場面も。監督が OK を出すと、亀田さんは子どものような笑顔に戻り、「イケてますか！」と大喜びしていました。「普段、名刺交換なんてしないので、とても緊張しました」という亀田さん。ほんのわずかな時間で、サラリーマン姿が板についている亀田さんを、監督は「安定した演技でとても安心できる」と頼もしそうに見つめていました。

◇思わぬサプライズに飛び出したパパの優しい素顔

撮影中、亀田さんのご家族がスタジオへ応援に駆けつけるという嬉しいサプライズがありました。家族に会うのは 1 週間ぶりという亀田さんが「なんやお前ら」と嬉しそうに声をかけると、子どもたちがダッシュで駆け寄ってきました。子どもの頃、自分が人見知りや苦労したこと、いろいろな人に出会える機会がある場には、可能な限り家族を同行させるという亀田さん。「物怖じしない子どもに育ててほしい」という3児のパパの優しい素顔がそこにありました。

◇現役時代を彷彿とさせる華麗なシャドーボクシング

接待カラオケを終えた帰り道のシーンは、都内でも有数の昭和のレトロな雰囲気が残るロケ地で撮影しました。パンチを見せろと煽る先輩のリクエストを断る亀田さんの行動が、先輩の意に添わず、途方に暮れるシーン。ここでは監督から「表情と立ち尽くすお芝居で演じ分けてほしい」という難しいオーダーがありましたが、亀田さんは見事一発 OK で応えていました。撮影終了後、劇中では頑なに断ったシャドーボクシングを、なんと！スタッフの求めに応じてその場で披露。スーツで動きにくかったのにも関わらず、1分以上もシャドーボクシングをして、最後は強烈なストレートで締めくくると、周りのスタッフから大歓声が沸き起こりました。

◇スタジオにそっくりそのままボクシングリングを移設

引退記者会見をイメージしたシーンでは、スタジオにボクシングのリングを再現。大掛かりなセットの中で撮影が行われました。そこへ、現役時代に使用していたボクサーパンツとシューズ、ボクシングバンテージを着用した亀田さんが颯爽と登場。現役時代さながらの華麗なシャドーボクシングを披露しました。「そろそろ現役に戻る時が来たのかな」と亀田さん。気合い十分で本番に臨むと、引退会見で自らに気合いを入れるカットでは、「しゃあ！ よし！！ でいきましょう」と監督に掛け声を提案。そこからは「一番、熱気の高いやつをください！」「もう一発！」と亀田さんと監督の間で試合さながらの熱い掛け合いが行われ、納得が行くまでベストシャウトを追求しました。

◇撮影中もついつい「GABA」に手が伸びて

オフィスで残業しているシーンでは、少し疲れ気味の雰囲気で、自然と「GABA」に手を伸ばし、口にするという演技に挑戦した亀田さん。ここでは早朝から夜中まで続いた撮影で疲れていたのか、カメラが回っていない時にも次々と「GABA」に手が伸びていました。現役時代から甘いものが大好きという亀田さん。その自然体の演技に監督も「口へ持っていく入り方も含めて、絶妙で良かったです！」と太鼓判を押すと、亀田さんも満面の笑みを浮かべていました。

■亀田興毅さんインタビュー

——撮影の感想をお聞かせください。

「前日は不安や緊張があったんですが、やっていたら楽しくなってきました。初日の最後のロケでは『もう終わりなんや』みたいな感じになって、2日目も朝からテンションMAXで臨むことができたかなと。終わってみればあっという間で、どこか寂しい気持ちもありますが、自分にとって最高の時間を過ごすことができたという思いです」。

——今回演じた営業マンという役どころについて。

「自分が毎日やっている生活とあまり変わらない感じでした。別に自分をつくることもなく、その役を演じるわけでもなく、自然体でできたと思います。ボクシングの世界も毎日毎日、苦しい練習、ハードな練習を乗り越えて、試合に臨みますし、営業マンの方も一生懸命いろんなことを考えて、時には徹夜をして大切な仕事に向き合う。どちらも似ているところがあるなと思いました。ストレスと常に向き合うという意味では、一般企業の仕事はもちろん、ボクシングも他のスポーツも、毎日が自分との闘いです。一生懸命練習できたか、自分に勝てたか、自分を追い込めたか。やはり共通する部分は多い気がします」。

——亀田さん独自のストレス解消法は？

「自分の場合は、ストレスをストレスと感じないよう、常に自分と闘っています。悪いことがあったとしても、なんでもプラス思考に考える。たとえば、道でつまづいてコケたら、ほとんどの人が『うわ最悪や』と思うでしょう。でも、自分の場合は『もしかしたら大事故になっていたかもしれん。ここでコケておいて良かった』と思うようにする。そうすることによって、ストレスもあまり溜まりません。結局、自分自身との闘いなんですよ。落ち込んでも誰かが助けてくれるわけではない。そういう自分との闘いはボクシングから学んだことです。毎日ハードな練習をして、試合でも緊張するけど、それに打ち勝つにはどうすればいいか、常に自分と向き合い、自分と闘う。そういうことをずっと小さい頃から繰り返してきているので、プラス思考が自然と身についているのかなと思います」

——見積書を作っているシーンで、自然と「GABA」に手が伸びていました。

「やっぱりストレスが溜まっていたんでしょうね。いつなったら撮影が終わるんやろうと（笑）。試合の時も控え室で、パンとかチョコレートとか、けっこう甘い物を食べますもん」。

——オフの時の趣味のひとつで、絵を描いていると伺いました。

「絵が得意な親父の影響で、『世界チャンピオンが描くものは価値が出てくるから描け』と以前から言われていたことが、絵を描き始めたきっかけです。絵が得意というわけではないけど、どうせなら一番のものを描きたいと思っていたところ、富士山なら三角形を描いて色を塗れば誰でも描けるというアドバイスをもらって。今は富士山を描いています」

——スマホで子供の誕生日動画を見るシーンがありました、
亀田さんのお子さんや教育方針についてお聞かせください。

「自分は小さい時からすごい人見知りで、小学校5年生まで親父のそばを離れることができなかったんです。17歳でボクシングデビューをするまでは、まともに喋れなくて、自分の殻を破るためにもプロになって世の中に出たのですが、とにかく人見知りの自分が嫌いでした。自分の子どもにはそうなって欲しくないから、生まれた時からいろんなところに連れて行って、いろんな人に抱っこをしてもらっています。皆、子どもは抱っこしたいですから。人見知りしないというのは、可愛がられますからね。あと、6歳までに大体決まるといいますし、遊びの中から身につくこともたくさんあるので、とにかくいろんな経験をさせて、適応力を身につけさせようと思っています」

——仕事でなかなか会えない時はどうされているんですか？

「嫁さんが携帯に写真を送ってくれるんですよ。大体の状況は常に連絡を取り合っていますし、テレビ電話もありますから。今はすごく便利な時代ですよ」。

——ご家族の存在についてお聞かせください。

「家族は守っていかなければダメですよ。まず結婚した時点ですごい責任感が出てきて、子どもが生まれたらなおさら責任は重くなります。現役の時は試合に勝てばそれでよかったけど、引退した今は違う。一日で結果が出るわけではないので、やはり毎日の積み重ねが大事です。うまくいかないことはいっぱいありますが、いろんなプレッシャーを家族が和らげてくれますし、支えになることもあります。自分もまだまだ頑張らないと！」。

■挿入歌 歌詞

『それじゃただの大人だろ』 <唄：竹原ピストル>

取り返しのつかないところまで 突っ走って 突っ走り方を取り返すのさ
はじめから道なんてないのに 踏み外すことを恐れて それじゃただの大人だろ

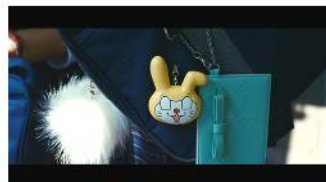
取り返しのつかないところまで 突っ走って 突っ走り方を取り返すのさ
はじめから扉なんてないのに 鍵を探し回って それじゃただの大人だろ

取り返しのつかないところまで 突っ走って 突っ走り方を取り返すのさ
どこかに近付いていくことを望んでいるのに
ここから遠ざかることを恐れて それじゃただの大人だろ

365 等分 切り刻んできた季節たち
36 度 5 分 返し続けてきた手のひら
誰も見送らず 誰にも見送られず
地図に載っていない現在地 約束はしないという約束

取り返しのつかないところまで 突っ走って 突っ走り方を取り返すのさ
はじめから道なんてないのに 踏み外すことを恐れて それじゃただの大人だろ

■「FIGHT×STRESS」篇（180秒）ダイジェスト



■WEB ムービー出演者プロフィール



◇亀田興毅 <かめだこうき>

生年月日：1986 年 11 月 17 日

出身地：大阪府

11 歳でグリーンツダジムに入門。父・史郎氏からボクシングの指導を受け、2003 年、全日本実業団選手権フライ級優勝。17 歳の誕生日にプロデビューを果たし、2005 年 4 月に協栄ジムへ移籍。同 8 月に東洋太平洋フライ級王座獲得。06 年 8 月に WBA 世界ライトフライ級王座獲得し、同 12 月に初防衛。07 年 1 月に同王座を返上しフライ級に転向。09 年 11 月に内藤大助を下して 2 階級制覇。10 年 12 月の WBA 世界バンタム級王座決定戦でアレクサンデル・ムニョスを倒し、日本初の 3 階級制覇を達成した。15 年 11 月に現役を引退。プロボクシングでの戦績は 35 戦 33 勝（18KO）2 敗。

■WEB ムービー挿入歌アーティストプロフィール

◇竹原ピストル <たけはらぴすとる>

大学時代の 1995 年、ボクシング部主将を務め全日本選手権に二度出場。1999 年、野狐禅(ヤコゼン)を結成し音楽活動を本格化。際立った音楽性が高く評価され、2003 年にメジャーデビュー。その後、6 枚のシングルと 4 枚のアルバムを発表。2009 年 4 月に野狐禅を解散し、一人きりでの表現活動を開始。



シングル 1 枚、ミニアルバム 1 枚、アルバム 4 枚の作品を発表する傍ら、年間約 250 本のペースでライブも並行するなど精力的に活動を行う。2014 年、デビュー時のマネージメントオフィスであるオフィスオーガスタに再び所属、ATSUGUA RECORDS より発表された「俺のアディダス～人としての志～」が大きな話題を呼ぶ。そして 10 月 22 日に、ビクター/スピードスターレコーズよりニューアルバム『BEST BOUT』を発表、リリース直後から敢行した「全都道府県弾き語りツアー “BEST BOUT”」（全 56 公演）と「竹原ピストル（ズ）ワンマンショー “BEST BOUT”」（バンドツアー全 9 公演）が大盛況のうちに終了した。2015 年、全国のライブハウスを行脚する傍ら、11 月 25 日にはニューアルバム『youth』をリリース。アルバムに収録されている「よー、そこの若いの」が住友生命「1UP」の CM に起用され、大きな話題を呼んでいる。2016 年 1 月よりアルバムを引っさげた 114 本に及び全国弾き語りツアー“youth” supported by 住友生命「1UP」を開催中。12 月には東阪でバンドツアー“BEST BOUT+youth”を行うことが決定した。同時に、役者としての評価も高く、これまでに熊切和嘉監督作品『青春☆金属バッド』（2006 年公開/主演）、『フリーズア』（2006 年公開）、『海炭市叙景』（2010 年公開）、松本人志監督作品『さや侍』（2011 年公開）の出演実績を持つほか、2016 年秋全国ロードショー、西川美和監督最新作『永い言い訳』がまもなく公開される。

■WEB ムービー概要

タイトル	江崎グリコ GABA WEB ムービー 「FIGHT×STRESS」 篇（180 秒）	
出 演	亀田興毅	
楽 曲	『それじゃただの大人だろ』 竹原ピストル	
公開日	2016 年9月26 日（月） 17:00	
公開先	GABA 特設サイト http://cp.glico.jp/gaba/	
企画・制作	(株)電通関西支社、(株)電通クリエイティブ X	
スタッフ	CD	辻倫明
	プランナー	田中真輝／石本藍子
	プロデューサー	大賀遊／廣瀬慧
	ディレクター	箱田優子
	撮影	月永雄太
	照明	西村昌幸
	美術	拓植万知
	スタイリスト	柚木一樹
	ヘアメイク	古久保英人
	ミュージック	山田勝也
	キャスティング	井上雅子
	AE	加納友輔

■「GABA」商品概要

『メンタルバランスチョコレート GABA』は、チョコレートカテゴリーで2番目になる機能性表示食品です。

- γ-アミノ酪酸（GABA）が、事務的作業による、一時的・心理的なストレス低減をサポートします。
- 手にべたつかず、一口サイズの大きさに仕上げました。仕事や家事の合間に手軽に召し上がれます。
- パウチ形態なので、持ち運びにも便利です。

メンタルバランスチョコレート GABA<ミルク><ビター>スタンドパウチ

発売日：2016年9月27日（火）

発売地区／全国

内容量：51g

価格：オープン価格



メンタルバランスチョコレート GABA<ミルク><ビター>フラットパウチ

発売日：2016年9月27日（火）

発売地区／全国

内容量：42g

価格：オープン価格

